

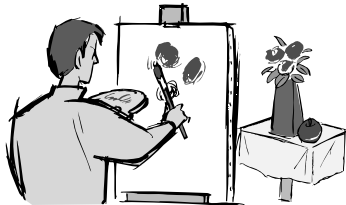
玉城梅子さん ギリシヤ大使館賞受賞

これからの活動に意欲

国際芸術交流展神戸2006に応募した玉城梅子さんの作品「街角」がギリシヤ大使館賞を受賞した。玉城さんは、これまで1996年10月に行われた第35回全国公募現水展入選を果たしてからこれまでたくさん賞を受賞している。また、今回応募した作品はフランス国際展覧会においても金賞を受賞。11月23日に宇富盛にオープンしたギャラリーには、何点かの作品が並べられる中「街角」も展示されており、一般の方も自由に鑑賞出来るようになっている。



受賞に満面な笑顔の玉城さん



自分はまだまだ未熟と謙遜する玉城さんだが、東風平改善センターでは墨絵サークルの指導もされている。オープンしたギャラリー「梅子の夢館八重瀬」において一月末からサークルメンバーの作品を展示して発表会をする予定だ。「町内には、素晴らしい才能をもった芸術家がたくさんいる。このギャラリーを使って多くの作品を町内の方に披露目したい」とこれからの活動に意欲を見せる。

NAHAMARUN

第22回那覇マラソンが12月4日に開催され、中間地点手前のコースにあたる八重瀬町県道507号線では、多くの人々が沿道にて選手たちに熱いエールおくりました。また、自治会長や赤十字奉仕団、学校関係者、役員職員などの団体も選手の給水や走路コースの安全誘導など、ボランティアに一丸となって協力しました。



県道507号線は、ジョガーたちでいっぱい

心温まる手作りの黒糖

「エネルギー補給にはミネラルたっぷりの黒糖が一番」と話す破名城の大城夫妻。毎年那覇マラソンに出場する選手に手作りの黒糖を提供して今年で5回目になる。以前、夫の盛仁さんが那覇マラソンに出場していた時に、体力をすぐに補給できる食べ物が沿道にあればいいのではと思いついたのがきっかけだそう。黒糖にも8号、9号、10号、NCOなど、たくさん種類があり、甘みや食感も異なる。盛仁さんは「体が元気なうちは、黒糖を選手のみなさんに提供して応援していきたい」と話した。大城夫妻が作った全部で24キロの黒糖は、具志頭交差点手前に選手たちに配られ午前中すべて売れ切れました。



喜代さんと盛仁さん

NAHAMARUNには黒糖が1番！

